

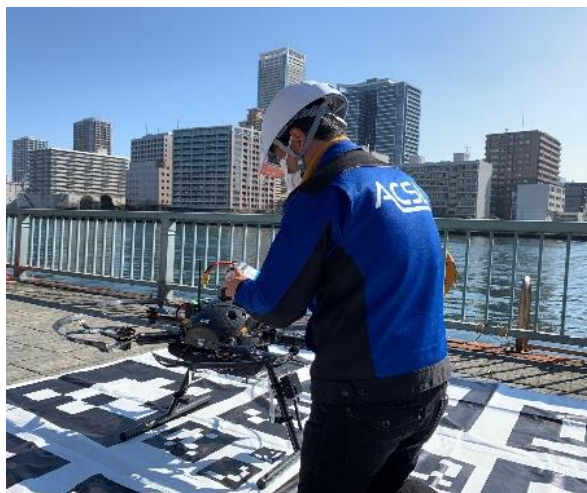
都内初、ドローンで永代橋など複数の大橋を横断する医薬品配送実験に ACSL-PF2 を提供

株式会社ACSL（本社：東京都江戸川区、代表取締役社長 兼 COO：鷲谷聡之、以下「ACSL」）は、日本航空株式会社、KDDI 株式会社、株式会社ウエザーニューズ、Terra Drone 株式会社、東日本旅客鉄道株式会社が、東京都に採択された「東京都におけるドローン物流プラットフォーム社会実装プロジェクト」に基づいて2月8日～9日及び16日に実施した、隅田川に架かる永代橋など複数の大橋をドローンで横断する医薬品配送の実証実験において、国産ドローン ACSL-PF2 を提供しました。

ACSLは2022年2月28日に中期経営方針「ACSL Accelerate FY22」を公表し、航空法改正に伴う有人地帯上空における目視外飛行(Level 4)の緩和や免許制度などの整備が進む中で、「持続可能なグローバル・メーカーへ」変遷すべく、Level 4 に対応した物流機体を含めた4つの用途特化型機体の量産化と社会実装事業を戦略の1つとして推進しています。

ACSLの国産ドローンは、物流、インフラ点検、災害等、様々な分野ですでに採用されており、特に、全国的にも事例の少ない補助者無し目視外飛行(Level 3)について、多くの実績を積んでまいりました。今回の実証実験は、都内で初めて永代橋など複数の大橋を横断する医薬品配送を ACSL-PF2 で実施したことで、当社が進める Level 4 に対応した機体開発に向けた大きな成果となりました。

【実証実験の様子】



実証実験に使用した ACSL-PF2



隅田川上空を飛行する様子

【株式会社ACSLについて】 <https://www.acsl.co.jp/>

ACSLは、産業分野における既存業務の省人化・無人化を実現すべく、国産の産業用ドローンの開発を行っており、特に、画像処理・AIのエッジコンピューティング技術を搭載した最先端の自律制御技術と、同技術が搭載された産業用ドローンを提供しています。既にインフラ点検や郵便・物流、防災などの様々な分野で採用されています。

以上